

平成30年11月議会 一般質問

骨髄バンクの取り組みについて

【共田質問1】長野県における骨髄バンクのドナー登録状況は、対象人口千人当たりにおける登録者は4.91で、全国最下位と低い状況です。骨髄バンク事業におけるドナー登録の必要性と取り組みについて伺います。

【回答】適合するドナーが見つかる確率は、血のつながっていない他人の場合、数百から数万分の1です。より多くのドナー登録が必要であると認識しています。現在、県内7つの保健福祉事務所におけるドナー登録受付を行っています。また、ドナー登録説明員の養成を行って、ドナー登録会やプロ野球やJリーグの会場での登録会や講演会を実施しています。この取組を継続、発展させていきます。

【共田質問2】適合者が見つかったもドナー側の都合により移植まで至らない場合があります。理由として、骨髄等を提供するのに一週間程度の入院期間が必要で、会社を休めないなど収入に直結するといったことがあげられます。県として、個人や職場への支援、助成などのお考えはないでしょうか。

【回答】休業等に伴うドナーの経済的負担を補償する制度や休暇制度を設けた事業所に奨励金を支払う制度は、ドナー登録者数及び提供候補者の移植率の増加にもつながると考えられることから、県としても効果的な支援として考え検討します。

平成30年11月議会 一般質問

職場のイメージアップについて

【共田質問3】人口減少から来る労働者不足、都会にあこがれる若者の流出を考えると、長野県で働くイメージを変えることが大切ではないでしょうか。県内の様々な職業のイメージアップを図ることが必要と考えますが所見をお伺いいたします。

【回答】長野県は、豊かな自然に囲まれ、通勤時間も比較的短く、物価も安いなど、仕事と趣味や家庭生活を両立するワーク・ライフ・バランスを保つ上で良好な環境にあります。県内で働くことや様々な職業に対するイメージアップを図り、県内へのU・E・Jターンなどによる人材の確保に努めてまいります。

【共田質問4】林業・介護・建設業のイメージアップについては？

【回答】森林には様々な恩恵がある一方で、木材価格の低迷や就労条件の改善等、すべき課題は多くあります。これからの林業の理想像として新しい4K、「けがをせず(セーフティ)」、「効率的に(スムーズ)」、「カッコよく(スマート)」、「稼ぐ(サラリー)」を考え、スマート林業などの技術革新や就労条件の改善を進めるとともに、本県の林業への飛躍に向けて、将来を担う人材の一層の確保・育成に努めてまいります。

【回答】介護職は夢があり、社会的意義のある大切な仕事だと考えています。ケアマネージャーや介護福祉士の方と懇談した中では、介護職は、休日もしっかりとることができる、資格手当や夜勤手当を含めれば、給与水準は決して低くない、高齢者の笑顔をつくるやりがいのある仕事だ、などの実態をお聴きしました。ネガティブなイメージが先行している介護職の、こうした正確な姿を情報発信のため、出前講座や職場体験受入れなどを行っています。また、子どもたちにもその魅力を伝えていけるよう、教育委員会ともしっかりと連携して取り組んでいきたいと考えています。

【回答】建設業は、インフラの建設や維持管理のみならず、災害

時には地域を守る重要な役割を担っておりますが、きつい、汚い、危険といった3Kのイメージを未だ払拭できていないと認識しております。給与がよく、休暇がとれ、希望が持てるという、新3Kの建設業を目指して、産学・官の連携強化により、建設業のイメージアップを始めとした就業促進・働き方改革を推進してまいります。

平成30年11月議会 一般質問

県内のプロスポーツチームへの支援と連携について

【共田質問5】今年、11月松本山雅がJ2リーグで優勝し来年J1への昇格を決めました。県内のいくつかの市町村でもホームタウン化が進み松本山雅自体の評価に対しても盛り上がりを見せています。長野県は元気な信州づくり包括連携協定をプロスポーツチームと締結しています。プロスポーツチームへ更なる支援と連携ができると思えますがいかがでしょうか。

【回答】9年後の国体に向けてスポーツを「する」「見る」「支える」などスポーツ文化の創造を目指しています。このうち「見る」について県内4つのプロスポーツチームと連携しています。市町村とも連携しながらホームゲームの情報などを発信して

より多くの県民がスポーツを楽しめる環境づくりに努めていきます。また、連携しているプロスポーツチームには150を超えている事業に協力いただいています。国体に向けた競技力向上など幅広い分野で連携を強化に努めていきます。

【共田質問6】松本山雅がJ1に残留し続けるには資金面や施設面などさまざまな課題をクリアしないと厳しいようです。J1のチームとしては現在のサンプロアルウィンでは課題があるように思われますがどのように考えていますでしょうか。

【回答】サンプロアルウィンは、今までトイレの増設・改善、大型映像装置の更新、芝の全面張り替えや音響設備のリニューアルなどを行い、Jリーグのみならず様々な人の利用に対して、競技環境の向上を図ってきています。施設のさらなる機能向上については必要に応じて検討してまいります。



農政林務委員会での質問